



こぐまぐみだより

2020年度3月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

冷たい風が吹く中にも少しずつ春の気配が感じられるようになりました。早いものでこぐま組での生活も残り1か月。「イヤイヤ!」と泣いていた子どもたちも、1人で身の回りのことができるようになったり、お友だちとの関わりが増えたり、立派なお兄さんお姉さんになりましたね。保護者の皆様とかわいい子どもたちの成長を共に見守ることができたこと、本当に嬉しいです、感謝の気持ちでいっぱいです。大好きなこぐま組が終わってしまうのは寂しいですが、残り少ない時間を元気に楽しく過ごしていきたいと思っています。

～1年間、ありがとうございました!～



～ひな人形～

ひなまつりの制作で、おだいらさまとおひなさまを作りました!まず、見本を見せると「これ、お家にあるよ!」なんて声が聞かれました。背景はスポンジで絵の具をポンポンとした後に、のりで桜を貼りました。マジックで人形の顔を描き、折り紙を三角に折って着物にしました。見本を見ながら真似をして顔を描く子、思い思いに好きなように描く子がいました。「お父さん、お母さんに見せたい!」とはりきっていたので、ぜひ一緒に見てくださいね。

♪おさんぽ、楽しい♪

暖かくなってきたので、最近は散歩へ行く日を増やしました。以前は手つなぎで歩くと、フラフラしてしまったり、前の子を抜かしてしまったりしていた子も少しずつ上手に歩けるようになってきました。「端っこを歩くんだよ!」と友だち同士で声をかける姿も見られます。また、「赤は止まれたよね」と保育者に確認する姿も!今後も春の訪れを感じながら楽しんでいけたらなと思っています。ぱんだ組になると、今よりも長い距離を歩くようになります。ぜひ、ご家庭でも手をつないで歩く機会をたくさん作ってみてください♪



<お願い>

子どもたちは進級に向けて異年齢交流などさまざまな活動を楽しんでいます。反面、今後の環境の変化を敏感に感じ取り、甘えが強くなることもあるかもしれません。クラス移行時に見られる成長の過程ですので、あたたかい気持ちで受け止めていただけたらと思います。また、幼児クラスでは今まで以上にさまざまな活動があります。安全な環境の中で活動をゆったりと楽しめるよう、活動のしやすい服装、運動靴の状態などの再確認をお願いいたします。女の子に限りませんが、怪我につながりやすいのでワンピースの着用や飾り付きのゴムを付けての登園はご控えください。ご理解とご協力をお願いいたします。